

地域子ども・子育て支援事業評価表

事業名	妊婦健康診査事業				
対 象	妊婦				
内 容	妊婦の健康診査を実施することによって流早産の防止や母胎の異常の早期発見や予防を目指す。妊婦の健康管理を図るため、妊娠中に１４回の健康診査費用の補助を実施。				
成 果	妊婦健康診査の補助を実施することにより、妊婦の健康管理を図ることが出来た。また、フォローが必要な妊婦にはフォローを行った。				
量の見込み	１３，０６４人	実績値	１１，９２４人	計画評価	Ｂ
計画値 (目標確保量)	１３，０６４人	確保量	１１，９２４人		
予算額	５６，１７７千円		決算額	５３，４９５千円	

各視点からの評価				
必要性について	基準①	基準②	基準③	評価
	10	8	9	9
効率性について	基準①	基準②	基準③	評価
	8	9	9	9
有効性について	基準①	基準②		評価
	10	8		9
公平性について	基準①	基準②		評価
	9	9		9
優先性について	基準①	基準②		評価
	9	8		9
事業評価	9	評価 コメント	妊産婦に対するフォロー体制は正常な出産を促すために有効であり、健康管理を徹底する必要性は高い。	

次年度以降の方針
妊婦健康診査受診率の向上のため、妊婦健康診査費用補助券の中に、国の示す標準的な妊婦健診の時期、回数例を記載し、妊婦健診の受診の必要性の周知に努めます。

地域子ども・子育て支援事業評価表

事業名	乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）				
対 象	生後４か月までの乳児				
内 容	児童福祉法第６条に定められ、市町村に努力義務が課されている事業。生後４か月までの乳児のいる家庭を訪問し、母子の心身の状況や養育環境等の把握を行い、継続支援が必要な家庭を適切にフォローする。				
成 果	訪問が必要な家庭には訪問を実施し、フォローが必要な家庭には電話、再訪問等でフォローを行っている。				
量の見込み	５００件	実績値	４２９件	計画評価	Ｂ
計画値 (目標確保量)	５００件	確保量	４２９件		
予算額	３，２２２千円		決算額	２，５７４千円	

各視点からの評価				
必要性について	基準①	基準②	基準③	評価
	１０	８	９	９
効率性について	基準①	基準②	基準③	評価
	９	９	８	９
有効性について	基準①	基準②		評価
	８	８		８
公平性について	基準①	基準②		評価
	９	外		９
優先性について	基準①	基準②		評価
	９	９		９
事業評価	９	評価 コメント	保健師、助産師及び看護師の訪問により、子育てに関する情報提供や養育環境の把握を行うことで、乳幼児の健全育成、虐待予防に有効である。	

次年度以降の方針
訪問後も支援が必要な母子には、適切な時期に継続支援出来るよう体制を整えます。